

健康と光線

運動の身体への影響

運動には、必身の健全な機能を持続する働きはもとより、疾病の回復を促進する作用があり、既に西歴紀元前から治療に用いられていました。しかるに近代医学は薬物療法や手術療法に片寄り、運動療法はなおざりにされがちでしたが、近年改めて運動療法の意義が慢性疾患で見直され脚光を浴びつつあります。運動不足は文明のもたらした弊害ですから、これを補うためにも朗報と言えます。

規則的な運動には予想以上の効果があります。紙面の都合で割愛しますが、あらゆる生理機能に影響します。この中から「若さ」と「寿命」について触れておきます。

各人の若さと実際の年齢とは必ずしも比例しませんが、よく肉体の若さを関節がどれくらい動くかで競いあっています。これを関節可動域と言います。年と共に狭まりますので、動きがよいほど若いと考えているのですが、運動で関節可動域を持続することは、若さを保つ奥の手なのです。

寿命と運動についての報告も

教訓に富んでいます。研究対象として成人病やガンのない人を選んで追跡調査した結果によれば、労働に従事したり規則的に運動している人は、病気に罹りにくく、死亡率は低く、平均5年から10年は長生きをしています。

また運動は、運動療法として疾病治療に有効です。この際に大切なことは、患者さんが運動療法の必要性をきちんと納得して、苦痛にもめぐるることなく、積極的に治療に参加することです。そうすれば、患者は自分自身が多大な治療効果を楽しめるのです。

運動療法の適応症

従来の運動療法は、五十肩や腰痛や関節炎（リウマチ）や骨折や脱臼のような整形外科的疾患において、関節の可動性を維持して筋肉の力を増し、変形や

発行所

〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費 年500円

電話 東京(03)
793-5281
712-5322

運動療法の基礎

— サナモアの併用でききめ倍増 —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮

光明

末梢循環障害、呼吸器疾患、産科から精神科領域まで、運動療法の適応範囲は広範にわたります。

サナモアの併用効果

光線、特に紫外線は、運動能や筋肉の力を増し、血管を拡張して血流量を増加させ、末梢循環を促進して疲労を軽減します。また、赤外線は局所充血を起すことによって痛みを和らげ、筋緊張をゆるめますので、運動をしやすくなります。従って、サナモア光線療法を併用し、これらの作用を利用しながら運動療法を行うなら、その治療効果は倍加します。

運動療法の簡便なやり方

重症患者の機能回復訓練や、機器、装具を使う運動療法は、専門家の指導により施設で行ないますので、ここではサナモアを使用しながら、自分でやる運動療法について述べます。

まず全身調整運動です。これは患者の耐えうる範囲で全身の筋肉を使う運動です。立つこと、歩くこと、走ること、泳ぐこと、何んでも結構です。この運動は、

長期に安静を余儀なくされた患者を始め、あらゆる適応症に有効です。

次は関節可動域訓練です。麻痺のある場合は他動運動も要りますが、これは専門家の仕事になりますので、ここでは関節痛患者の治療について述べます。

サナモアには鎮痛効果や筋緊張をゆるめる作用がありますから、照射中や照射後に、痛みを感じるところまで関節を動かすようにします。これによって、関節可動域を維持、増大し、筋萎縮を防ぐだけでなく、血行の改善、関節腫脹の減少、疼痛の軽減などの効果があります。

おわりに

私たちにとり運動は理屈なしに必要です。しかし、これまでは病気の治療に果す運動の効果は過少に評価され、安静が重視されました。その結果、全身諸機能の低下を来し、かえって治療効果を妨げる場合もあります。運動不足は、体力低下、側湾症、易骨折性、変形性関節疾患、や、肥満、心臓病、動脈硬化、糖尿病、高血圧などに関係します。この面からも、自己の健康管理に運動療法を導入することが必要です。

謹賀新年

昭和六一年 元旦

サナモア光線協会

「浅草」

宇都宮義真撮影



讀光譜



霧の都、ロンドンは、濃霧だけでなく、煤煙でも有名ですが、最近のニューヨークやボストンや東京や大阪の煤煙はそれ以上で、日光の地上に達するのを妨げているのであります。されば、英国の医師、レオナルド・ダッヂ氏は、「ロンドンの最も緊急な問題は、空気浄化を如何にすべきかだ」と叫び警告を発したのであります。今や此の問題では世界各国とも悩まされているのであります。

昔工業都市ロンドンに多発し、真因不明の奇病と恐れられたクル病は、それ故にイギリス病とも呼称されたのであります。が、真因は煤煙が紫外線を遮ったための光線不足病だったのであります。一方、わが日本でも、近年工業化が一段と進み、上空の塵埃が更におびただしくなっていることから、此の問題は重要視されなければなりません。実際、特に都会地の児童の骨が、多少ともおかれているのは、この事実を雄弁に物語るものがあります。

△
しかも文明は、私たちから限りなく太陽光線を奪うのであります。文明人は大気汚染の下で

集団的な生活を余儀なくされていますから、光線を浴びる機会とは必然的に減少します。その結果、高層建築の谷底で生活する私たちの健康と生命とは日夜むしばまれているのであります。そ

高層建築の谷底に 喘ぐ近代人

宇都宮 義真

のため病弱になり、疾病に対する抵抗力が低下するのにも到底免れぬ事であります。この実情に思い至る時、都会生活の犠牲も亦大なりと言わねばなりません。

△

“光は恐らく目に見える物の中にて、最も不可思議なるものならん”

(Light is, perhaps, the most wonderful of all visible things.)とは、レイ・ハントの言葉ですが、私たちが健康を保持し、天寿を全うするために、光線は偉大な作用をしているのであります。光線は、自然が私たちに最も公平に与えてくれた強壮剤です。病人もただ医薬のみにすがって悶々と日を過ごすだけでなく、光線がどれ程必要なものかを認識して、自ら進んで自然の無限の恩恵を利用するようにしなければならぬのです。

△

アメリカ諸都市の衛生課および防煙課では毎日の光線量の調査をして、市民の健康増進のために上層空気の浄化を図り、太陽光線が十分に注ぐように努力しているのであります。また、東京市衛生試験所都市衛生試験部においても、昭和六年七月以来毎日太陽光線中の紫外線量を測定しています。

しかし、前述の如く自然環境ならびに生活環境の変化により、都会人が浴びる光線量は著しく低下しています。これが天上の

光線に換わるに地上の人工的光線が必要になる一半の理由なのであります。また、此の人工光線を利用した光線療法が研究された結果、人体生理的作用の欠陥を補足して、疾病の回復を促進することが認められたのであります。

従って、之に用いる器具も日に改良考案され、廉価にして操作容易なる家庭用光線治療器が発売されたことにより、光線療法は人口に膾炙し、一般家庭に普及するに至ったのであります。

△

これが家庭用光線治療器、サナモアであります。サナモアを介して、光線治療の効果を世に知らせることは私たちの義務であります。サナモアを死蔵せぬよう何病気にも使用するよう心掛けて下されば、サナモア光線療法の効果がよく分ります。なお、治療法は昭会あればお答えします。

「光線」 昭和9年9月5日発行
—高層建築の谷底に喘ぐ近代人—
—人工光線は絶対的必要—
より要約した。

(ビ) タミンDは、クル病研究の過程で、予防ならびに治療効果を持つ生理活性物質として発見されたため、クル病患者の骨におけるミネラル(ヒドロキシapatite)の減少とか、血液中のカルシウムおよびリンの低下と関連付けて主に検討された。この間の経緯については既に記述したが、ビタミンDが腸管からのカルシウムの吸収、骨組織の石灰化の促進に必須の物質として関与することは特に良く知られている。しかしビタミンDには、他にも重要な作用のあることが明らかとなっており、日新しい知見が加えられている。

(マ) ず、ビタミンDのその他の作用について記述するのになら、ノースカロライナ大学のストウンプらが行った総括的な実験に触れておく。

ストウンプらは、ビタミンD欠乏状態にした被験動物に、放射性同位元素で標識した活性型ビタミンDを投与して、ビタミンDがどの臓器のどこに取り込まれるかを組織学的に調べた。言うまでもなく、一般に生理活性物質は、標的とする臓器(細胞)に取り込まれた上で作用を営むことから、標的臓器を知ることは極めて大切である。

その結果、活性型ビタミンDの体内分布は広範にわたることが明らかにされたのである。即ち、小腸粘膜上皮細胞、骨組織の造骨細胞、副甲状腺の主細胞のように、従来からビタミンDの

標的臓器と考えられ、カルシウム代謝や造骨作用に関係する臓器だけでなく、脳下垂体の甲状腺刺激ホルモン分泌細胞、腎臓の遠位尿管細胞、脾臓のβ細胞、胃のガストリン分泌細胞、表皮の細胞、肝の脂肪細胞などである。その他には妊娠動物の胎盤、腫瘍細胞なども多く取り込んだ。

(二) の実験成績は、光線が生体の生理機能の調節に、常人には想像もできない効能があるという直感に正しく合致する。

(さ) て、人智を越えた自然の精妙な絡繰りが分かる、妊娠による光線感受性の変動の話から始めよう。

光線感受性は、皮膚の紅斑閾値を用いて調べるが、これに影響を与える一般的な要因としては、毛色、年齢、性別、季節がある。これらの要因は規則的に光線感受性に変動を及ぼすのであるが、特殊な生理的状态によっても光線感受性は影響を受けるのである。中でも妊娠は要因として先ず挙げなければならぬ。

(妊) 娠時、胎児の健全な発育のために、多量のカルシウムを必要とする。ディートリッヒは、この時期に光線感受性が上昇することを指摘し、エリンガーは

その程度を測定して約40%増強すると報告した。その経過は、妊娠2カ月目より上昇を始め、4カ月頃にはほぼ頂点に達する曲線を描く。この原因については未だ明確にされていないが、グスマンは感受性増強の要因として、妊娠中に起こるカルシウムの減少を指摘している。

(し) から、妊娠時に認める光線感受性の上昇に応じて、血液中の活性型ビタミンDの値は

その際、ビタミンDおよびカルシウム摂取量の個体差をなくするために、毎日ビタミンDを七〇〇国際単位とカルシウムを二、一〇〇ミリグラム与え、また紫外線によるビタミンD生成量の季節変動を避けるために夏期に行った。

その結果、活性型ビタミンD測定値は、妊娠早期から上昇し、妊娠期間中ずっと上昇を続け、授乳期間には上昇を持続することが明らかにされたのである。この

(た) だし、未だに活性型ビタミンDの血中濃度が増す理由は確認されていないと言え、疑問に思う方もあるかも知れない。生理的にビタミンDを代謝して最終的な活性型ビタミンDを生ずる場所は腎臓だけと考えられているからである。ビタミンDの作用、その7)ところが、グレイらにより、妊娠動物では両腎を摘出しても活性型ビタミンDが出現する事実が報告され、妊娠中に限らず腎以外の所でも活性型ビタミンDが作られることが判明したのである。

それ以来、多くの研究者によって実験が積み重ねられた結果、母体の腎臓以外に、胎児の腎臓、脱落膜、胎盤などが関係していることが示された。

(二) こで、胎児のビタミンD代謝ならびにカルシウム代謝について、手みじかに付け加えておく。

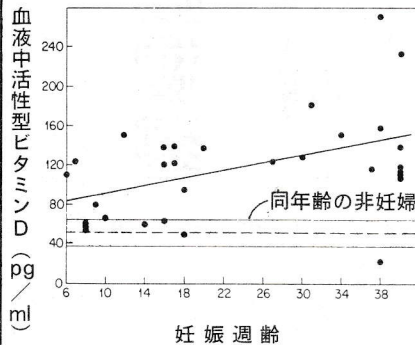
これまでの実験の結果から、胎児の代謝はいろいろな点で母体と違っている。その結論を述べると、胎児のビタミンD代謝やカルシウム代謝は、母体側の条件によってほとんど影響されることがなく、胎児の发育環境の恒常性(ホメオスタシス)を保持する。これは母体側にビタミンD欠乏症(光線浴不足)やカルシウム不足(偏食)のような悪条件があれば、母体を犠牲にして、胎児への悪影響を最小限に止めようとしているのである。

応用光線療法学

(25)

□ ビタミンDの作用 □

その 22



正常妊婦(●)と同年齢の非妊婦の血液中活性型ビタミンDを比較すると、妊婦においては妊娠の経過と共に高値になる。(クマールらによる。)

医学博士

宇都宮 光明

□ サナモア

との出会い

サナモアと出会ってから四十三年になりました。まだ樺太にいた時ですが、この出会いが、その後の私の人生を決めたのです。

戦後、樺太から引き揚げて鹿児島に移り住み、昭和二十二年にサナモア光線療法で開業しました。開業二年目に

私の闘病記

□ 左が利かない

とありますが、私自身、自分の不注意もあって、脳梗塞にかかってしまったのです。それゆえ患者は私、八十二才の女性です。昨年の一月三十一日午後十一時半頃、コタツから隣の寝室へ行こうとした時に、ふと頭が変になったと思った途端、目の前のテレビが横になり、壁にかけたカレンダーが下に見え、左手の五本の指は氷のように冷たく、赤くなり、しびれてしまいました。手

首から肘の関節まで腫れ上がり、むくんで垂れ下がりました。左手足が思うように動きません。これは大変なことになった。立って倒れては一大事と思い、這ってドアのところまで行き、三階の息子を呼びましたが、なかなか声が届かず、五・六回目にやっと来てくれました。

□ 直ちに光線療法

を始める

この場合、一・二時間は身体を動かすことはいけませんので、その場で服も着たまま、光線をかけるように頼みました。頭に二時間、足裏に二時間照射してくれてる間、私は眠っていました。二月一日の朝五時頃になって、やっとパジャマに着替えさせてもらい、布団に移されました。

近くのビルの診療所の先生は往診はしないため、知人の世話で芦屋に近い池田診療所の先生が、二月二日から往診して下さいました。先生はリハビリテーションのために、私の動かない左手足の運動をしてくれました。

□ 左足が動く

布団に移ってからは、カーボンはABとADを交互に使用し

て、足裏、小脳(集光一号) 大脳全体に各十分、朝晩照射、他に腹、膝、眼(集光一号) 腰、背、各五分一日一回照射しました。二月三日は看護人の交替で、娘の節子は来てましたが、私の体重が五十八キロもあるため、室内トイレでも二人掛かりでないと起こすことができません。今日は一人でどうしたものかと心配してました。案の定、夕方トイレに行きたくなり、何かよ

脳梗塞

ウエノ光線療法

上野 貞

い方法はないものかと思いが、左の足をさすっていたら、少し感じます。よし、それなら座ってみようとしたら出来ました。次は腰を少し上げ、差し込み便器を使って排尿する番ですが、これもやっと出来ました。尿は便器から溢れるほどで、普段の三倍ぐらい出ました。

二月四日の朝も便器でしましたが、また普段の三倍以上の尿が出ました。その後、左腕のむ

くみが一遍になくなり、普通の腕になりました。右の脳の詰まった血管が通ったように思いました。これも、脳に、朝晩サナモアをかけたお陰です。

□ 歩行練習を開始

二月末から杖をついて歩く稽古を始めました。三月になり、手足の動きは少しずつ良くなりましたが、先生から下の血圧が少し高いから気を付けるようにと注意されました。

三月十六日、先生が入浴を許可して下さいました。二人に手伝ってもらって入りました。

三月二十日頃からは、室内なら杖なしで歩けるようになりましたので、四月一日より付き添いの家政婦は昼だけにしました。夜は一人で用が足せるころまで回復したのです。日に日に快方に向い、経過順調です。

□ CT検査は異常なし

四月十日、倒れてから初めて歩いて外に出ました。こんなに嬉しいことはありません。

五月一日、神戸市民病院を受診、脳の後遺症の検査のため、脳のCTスキャン(脳のレントゲン検査)を五月二十一日に受けることにしました。五月二十一日検査。

五月二十七日に結果を聞きに行きました。写真は七枚ありました。

「貴女のCTには悪いところはない。五十才、六十才でも脳の退化している人もあるが、貴女の脳は二十才は若い。血液や尿の検査にも異常はないから、通院の必要はない。」と言われたのです。

□ 遂に治った

身の回りのことや、近くの買物ができるようになりましたが、左手の指四本だけ薄紙を貼ったような感じが残りました。でも九月末にふと気付いてみると、いつの間にか右手と同じ感触になりました。これでやっと完全に治ったと実感することができたのです。

毎朝六時に目が覚めると、必ず一時間はかけてサナモア光線療法をしています。此度の私の脳梗塞もサナモアで治療した最初の処置がよかったから、完全に治せたのだと思います。これもサナモアとの出会いがあったからです。心から感謝しています。



新春雑感

東京光線治療院
海 渡 一二三

天と地の真理

すべての生物は、目に見えない天と地の真理に支配されています。それ故に、健康や病気について、私たちの理解を越えたところがあるのは、むしろ当然なのであります。

ところで、生物の生理機能がすべて順調に行われていることを、生理的狀態あるいは健康と言ひ、これに反し、生理機能に何んらかの異常があって円滑に営まれないことを、病的狀態あるいは病気と言ひますが、健康を保ち、病気を予防し、病気を治すのに、天と地の真理、即ち生物は自然によって生かされている事実を忘れてはなりません。私は、この20年間、沢山の患者さんの色々な病気に、サナモア光線治療をしました。その経験を通して、健康を取り戻す根本原理は、生物が命のあるかぎり宿している、生きる自然の力を助けることだと考えています。

この自然にそなわった力こそ、最も重要な生命現象であり、天と地の真理だと思います。

サナモアで

細胞に活力を

私たちは、高度に分化した細胞からできています。それぞれの細胞は、役割に応じて独自の形態と機能を持ち、役目を果たしています。そのため、天地から必要なものを取り入れ、これを代謝し、利用しています。この際細胞がいかに分化していても、細胞に活力を

病気が治るということ

サナモアの効果について

この四要素は、健康にも病気の治療にも不可欠なのであります。現在、病気が細胞の形態異常を中心にして分類されていることから分るように、病気は細胞の異常であり、病気を治すということは、異常な細胞の機能や形態を正すと言い直すこともできるのです。それには、細胞に活力を与え、治ろうとする力を助けることが必要です。サナモアは、細胞に活力を与える各要素の中で、最も不足している真の光のエネルギーを補

給することによって、細胞が障害から回復するのを助けるのであります。

病名の

つけにくい病人

「病気を診ずして病人を診よ」とは、患者を忘れた医療を戒めるたとえですが、現に症状はあっても病気が発見されない患者さんがいます。このような病人を、病気はないと片付けることはできません。病気には、身体臓器に異常がなくても、機能や

症状があるから

病気が分る

病気が分るのは、健康診断を除けば、症状があるからです。従って、私は常に症状は味方だと思つています。例えば患者さんが、「何故痛いのか」と聞けば、神様があなたに病気を教え、養生をさせ、治療を受けさせるために痛みを起こさせたのだと話します。その上で、症状のな

病気と健康は

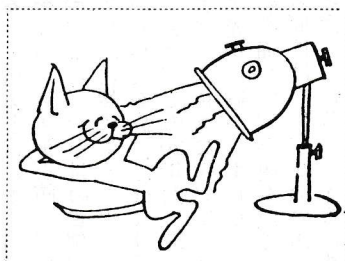
生命現象の裏表

熱のある場合、頭は熱を感じても、下半身と足は冷たい人がいます。この時には、サナモアを腰十分、足裏三十分照射すると、全身から汗が出て、熱は素早くさがります。このように頭寒足熱にすることは治療の第一です。これによって身体から病気が治るのです。

話して、症状に対して過度に心配しないで心に安らぎを与えるようにしています。また、患者さんの中には、私の病気は何日か治りますか」と質問をされる方がいます。その時には、今あなたの病状に合せて治療をしていますから、あせらず回復するまで治療して下さいと話します。あなたの身体は、段々と健康になっていると話します。

おわりに
平凡な真理は、健康とは心と身体といずれも健康でなければならぬことです。サナモアには、目に見えない、常識ではかれない効果がありますので、不思議がられ、喜ばれ、次第次第に健康に自信を持つようになつて行くのです。

実際、サナモア光線療法で症状がとれば、無理に薬で症状を抑えたのと違って、病気が治って症状がなくなったのです。即ち、病気と症状の因果関係を正し、健康を取り戻したことによるのであります。

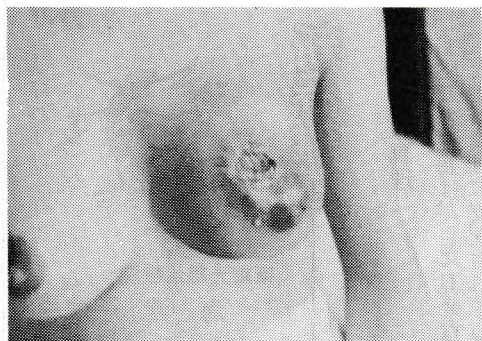


一治験例報告一

☆乳腺炎

症例 20才 女性

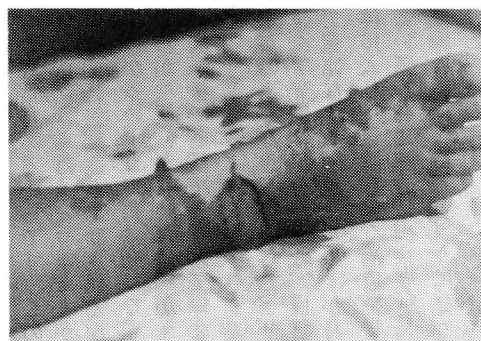
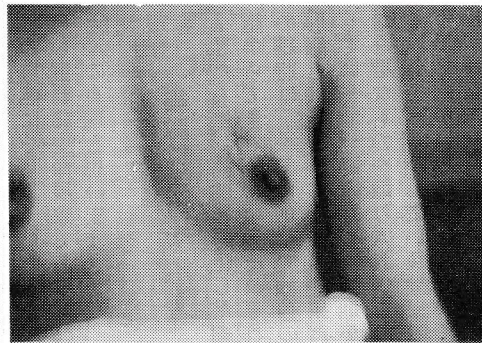
症状 左乳房が腫れてピンク色になり、激しく痛む。病院で乳腺炎と診断され通院していたが、段々ひどくなり夜も眠れない。そうこうしているうちに、



いよいよ手術しかないと言われる。そのような時に光線療法を紹介された。

療法経過 B Cカーボンで患部に、まず集光一号を使って20分、次に集光二号を使って30分照射した。また、Aカーボンで、腹部、腰部、背、膝、足裏に各5分照射した。

患部は、写真上に示したが、感染部は潰瘍になっていて、光線をかけると膿がどんどん出た。約十日ぐらいで腫れも引き、膿も減ってきたが、患部は穴があったようになっていた。その後は血膿が出ていたが順調に回復し、潰瘍もどんどん小さくなり、三週間で写真下に示したようになった。



(患者や患者の家族は、初めは信じ切れずに心配していましたが、今では不思議な治療だと言っているようです。)

☆熱傷(ヤケド)

症例 18才 女性

症状 自動車の助手席に乗っていたら、自動車のラジエーターが故障して、熱湯が蒸気となって車内に吹き込み、右足をヤケドした。

療法経過 Bカーボンで患部に万遍無く30分照射して痛みを和らげてから、患部の状況から比較的ひどいところ三カ所に、集光一号を用いて各20分づつ照射した。他にAカーボンで腹部に5分かけた。



その結果、痛みは一日で完全に止まり、一週間後には水泡も涸れて表皮も自然にはがれてきた。(写真上)

今では新しい皮膚が再生して、写真下のように跡形もなく治癒した。

神戸市 ウエノ光線療法
上野 貞氏報告
TEL 〇七八ー三三二ー一三五八

☆胃ガン

症例 54才 男性

症状 会社勤務中に激しい胃痙攣を起こし救急車で近くの病院に入院したが、二日後に退院した。しかし、その夜、再び胃痙攣を起こし再入院した。

検査の結果、胃ガンが肝臓や

脾臓などに転移していると診断され、手術をすすめられたが、手術を受ける気は毛頭無かった。家族とも相談の上、一カ月後に自己退院した。以来、自宅で光線療法と食事療法を併用しながら治療した。

療法経過 カーボンは、A D、B D、A Bの組み合わせを使用し、上腹部(患部)は気持ちのよい間、熱く感じるまで照射し、他に背、腰、足裏、足首、膝、肩甲部から後頭部、下腹部、のど(第一集光器)に気持ちのよい間照射を朝夕二回指示した。また、食養生については、玄米粥、柔らかい菜食、青物のジュース、スープ、黒ゴマや葉草茶などを摂るようにして、精神的にいらいら取り越し苦労をせずに、感謝する素直な気持ちで毎日を過ごすように話をした。その甲斐あってか、一週間ほどで病人という自覚がなくなり、退屈だから出勤すると独りで決めて働き始めた。その後は働きながら治療していたが、病人らしい様子もなく、元気に仕事をしていた。

出勤し始めて八十日は経たころ、会社からスペインへの出(七面へつづく)

(六面よりつづく)

張命令があり、家族の反対を押して切って出発してしまっただが、約五十日後に胃癌が再発、急遽帰国して国立ガンセンターに入院した。

そこでの検査結果も、巨大なガン性潰瘍があり、いつ出血するか分らないから手術しなければ危ないと言われたが、家族や周囲の者が皆手術に反対したこともあって、手術は受けずに退院することにした。それで担当医師に、一先退院して、叔母がやってくれる光線療法をみっちりやってみたいと話したら、何も言わずに退院許可をくれたとのことである。(この症例は前田先生の甥です。)今度こそ、無理はしないで、光線療法や食養生に、前に倍するだけ専念しようとする。

再度、前回に準じて照射法を指示した。カーボンは、AD、BD、ABにBCの組み合わせを加え、交互に使用している。退院して三日目に、これまで腹の調子が悪くて夜中に必ず目が覚めていたのが覚めなくなり、空腹時にあった圧痛がなくなつた。こうなると、また病人であることを忘れて、食事がどうだ

こうだと言いだしたが、私や母親から我儘を言わずに辛抱しなさいとさとされて、今は納得して一生懸命に治療している。

最近、毎日明るく、昼間は床に就くこともなく、用事で時々会社や銀行へ外出するが上気嫌で帰宅し、「食欲がありすぎて困るんだよ」などと言っている。ほっとした今日此頃である。

治療例補遺

家族と患者のある日の会話を紹介します。

「俺は二カ所の病院で検査して

胃ガンと言われたんだから、間違ひなく病気はガンだよ。」

「何を言ってるの。真剣に命がけで絶対に治るんだと思わなくてどうするの。叔母さんからもいろいろな体験談を聞いたでしょ。だから光線をちゃんとかけて、食物や飲み物にも注意してるんじゃないの。」

「あまり効果があり過ぎるから、ほんとにガンだろうかと思うんだよ。」

「ガンでも何んでも早く治ればいいじゃない。変な想像なんかしないで頑張りなさい。」

「光線がこんなに効くなんて、

愛用者だより

☆中耳炎

福岡県八女市 川口富代子

五才の長女が夜中に四十度近い熱を出し、痛い痛い泣き出しました。

翌朝、小児科へ行きました

ら中耳炎で多分手術が必要だろうと云われ、耳鼻科の紹介状を書いてもらいました。帰宅してからサナモアのことを思い出し、光線をかけてやり

これまで全然思わなかった。わかったよ。」

「わかればいいのよ。」

春日市 前田光線治療所

前田 ミサ氏報告

TEL 〇九二一五八一二〇三九

☆頭部外傷

症例 77才 女性

症状 夜間外出中、階段を下りて最中に足を滑らし、コンクリートの階段に頭を打ちつけ頭に大怪我をした。傷は六センチに及び、おびただしく出血した。患者は前からサナモアを愛

用していた関係から、治療法を尋ねて夜中に電話してきた。

日が続いていました。医者にはかかっていたのですが、痛みはどうしても消えません。そんな時、家内がサナモアの光線療法が良いと聞いて来ましたので、治療器を購入。早速試してみました。

治療をはじめて約一カ月、痛みは大分楽になり、夜も眠れる様になり、体力もついてきた様に思います。

☆糖尿病

神戸市 榎本弥太郎

十年來の糖尿病で、胸や横腹、背中が痛み、夜、眠れない

用していた関係から、治療法を尋ねて夜中に電話してきた。

療法経過 取り敢えず、傷口にABカーボンで四五時間照射し、完全に止血したことを確認すると共に、今夜は特に頭痛や吐き気のような症状が出ないか注意し、少しでも変ったことがあれば、直ぐに連絡するように指示してから、明日必ず来るように話した。

翌日、約束通りに来院した。治療はBCカーボンを使用し、外傷部は集光器一号を使って30分照射、後頭部5分、腹10分、腰10分、足裏10分、左右の耳に各5分照射した。その後の経過は極めて順調で、外傷も日増しに良くなり、十五日間で傷口は完治した。しかし、頭をコンクリートで強打したことから、頭蓋骨への影響も無視できず、十六日目よりはABカーボンで自宅で治療を続けることとした。

その一カ月後に再度来院されたが、この間、何んらの異常もなかったことから全治と告げた。

川崎市 東京光線治療院

海渡 二三氏報告

TEL 〇四四一七二二一五〇六七

サナモア体験記

子宮筋腫

神戸市 布木タカ子

四十五歳の時、人間ドックの検査で、「子宮筋腫があるので、直ぐ手術を受けるようにして下さい」と宣言された。私は十五年前からサナモアを使っていたので、早速上野先生と家庭医にその旨伝えたら「手術しなくても大丈夫」と言われたが、内心は心配だった。でも、主人と息子二人の男世帯を考えると、とても入院できない。それで、神に祈るような思いで、腹部に朝晩二回、BDカーボンで照射した。

しかし、光線治療を始めたのに月のものの前には立っていられないほどの激しい腰痛を感じ、誰かにグーッと押えて貰わねばならなかった。量もアンネナプキン夜用を一カ月に五、六袋も使用した。「これで良いのだろうか」、半信半疑になり、上野先生にお尋ねした。「それは陽性反応です。みなさんそう云われます。」と先生はおっしゃったが、量は増える一方で、その上

鶏のレバー位の塊が二、五つ位出て、トイレ(和式用)から立ち上ろうとしたら立眩みする。「果たしてこれで良いのか」、また苛立ってくる。紹介していた方にも話せず困惑した。

こんな状態が二年位続く。その中に月のものの量が減りはじめ、腰痛も感じなくなつた。月ものも月に二回あったり、とんだりに不規則になってきた。そのうち、「あれ、この月はうっすらとしかるしがないが、どうしたのかな」と思ったのが最後になった。四十八歳だった。

でも、病院での検査は、その後も指示通り続けた。最初の二年間は「半年に一度来なさい」、次の三年間は「年に一度でよろしい」と云われたので、その通りに通院した。

この間、病院の診察の結果がどうであれ、殆んど毎日のように、光線治療を続けた。カーボンは主にAカーボンを使ったが、週に二回はBカーボンで照射した。手術をしないで子宮筋腫を治したい一心だった。

それが、この盆に病院に行き(昭和60年)診察を受けたところ、先生が「子宮筋腫は跡形もありません。これからは二年に一度で結構です」とおっしゃったのである。

盆だから病院も空くだろうと思つて行つたが、とんだ計算違いで、四時間十分も待たされたが、こんな嬉しい言葉が聞けるとは夢にも考えていなかった。ポイトライナーに乗って三宮に來た時は、まるで少女のような気分だった。

目黒通信

☆光線療法に対する見識
経験、情熱において、敬愛する上野 貞先生が昨年一月に脳梗塞で倒れました。

☆先生は今では大病が信じられないまで回復されましたが、この貴重な体験を寄稿して下さいました。

☆また先生は今回の御病氣について「日頃から光線治療をしてたからよかったのよ」と何げなく言われました。

☆先生の長年の経験に裏打ちされた言葉を噛みしめてサナモアを活用して下さい。

お知らせ

★新年は

一月六日(月)から

営業を開始します



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限らない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)七九三二五二八一
(七二二一五三三二)

(本紙の無断転用を禁止します。)